

〈借金・貯金の状況〉



▶年度末借金（地方債）残高

一般会計の残高

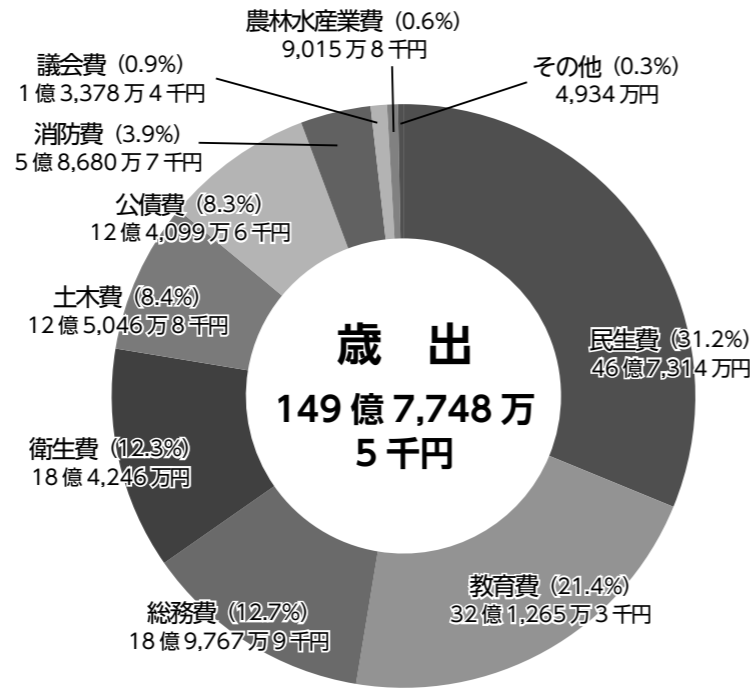
平成 24 年度決算額	約 104 億円
平成 25 年度見込額	約 110 億円
平成 26 年度見込額	約 139 億円

▶年度末貯金（基金）残高

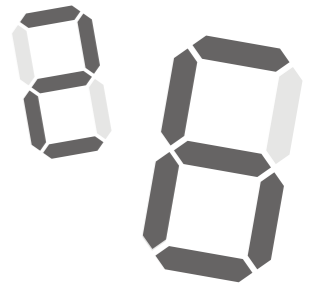
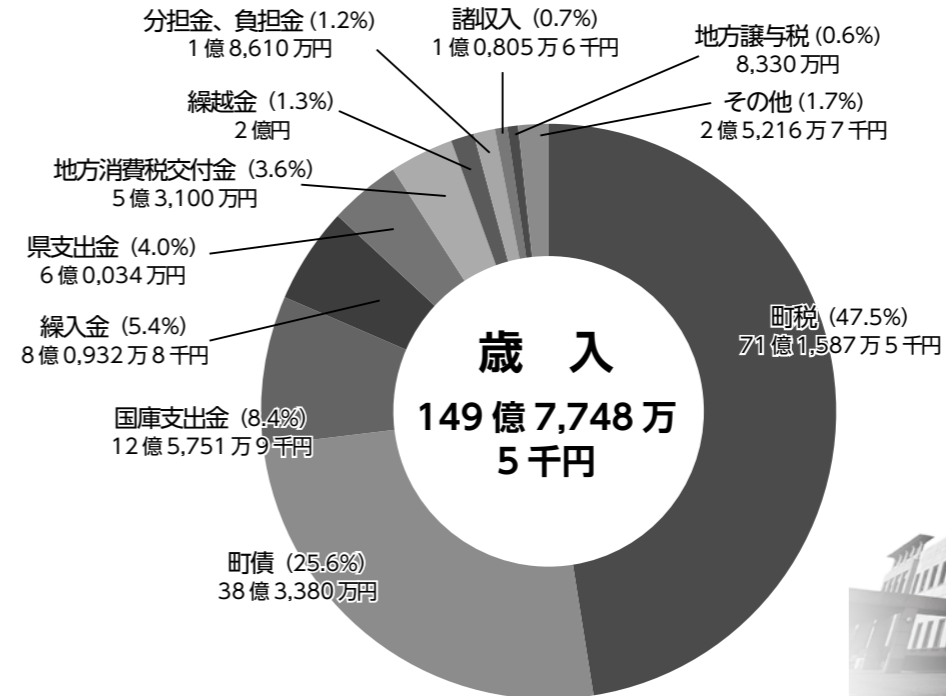
財政調整基金、特定目的基金の合計

平成 24 年度決算額	約 8 億円
平成 25 年度見込額	約 10 億円
平成 26 年度見込額	約 3 億円

一般会計の歳出



一般会計の歳入



平成 26 年度

町では、厳しい財政状況の中、限られた財源を活かしサービスを行っています。税金がどのように活かされているのか、平成 26 年度予算案の概要をご報告します。☎財務課☎ 415

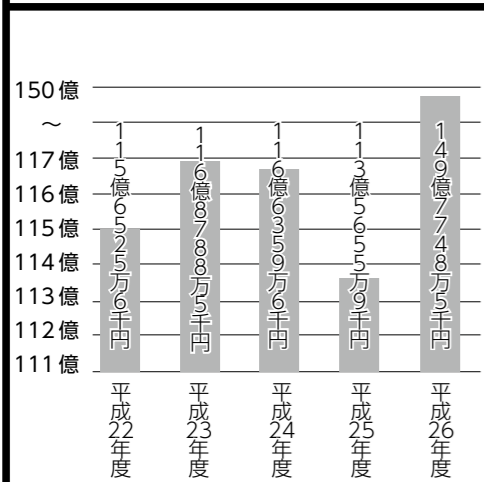
一般会計 149 億 7,748 万 5 千円  
特別会計 73 億 5,918 万 3 千円

三芳町の

予算

平成 25 年度から  
36 億 2,092 万 6 千円  
の増額（一般会計）

当初予算の推移



過去 5 年間の推移

特別会計予算

特別会計項目	当初予算等金額	前年比	問い合わせ	
国民健康保険特別会計	4,560,119 千円	1.34%	住民課保険年金☎ 154	
後期高齢者医療特別会計	354,184 千円	3.82%	住民課保険年金☎ 157	
介護保険特別会計	1,906,196 千円	11.70%	健康増進課介護保険☎ 184	
水道事業会計	収益的収入	826,105 千円	15.09%	上下水道課水道業務 上下水道課下水道業務 ☎ 248 ☎ 049-274-1014
	収益的支出	821,391 千円	△0.30%	
	資本的収入	308,906 千円	57.42%	
	資本的支出	678,459 千円	12.19%	
下水道事業特別会計	864,829 千円	6.54%		

特別会計の中でも国民健康保険は厳しい財政状況等のため、保険税の課税限度額を昨年度改正しました。特定健診の第 2 期計画がスタートした昨年度は、多くの皆さんに特定健診を受診してもらい、自身の健康管理、疾病の早期発見、重症化を予防することで、国民健康保険財政運営の健全化に繋がりました。介護保険特別会計は、高齢者の増加により介護サービスの利用増が見込まれることにより前年度と比較して 11.7% の増となりました。企業会計の水道事業は、経費削減、健全経営し、安定給水に努力していきます。

厳しい財政状況

平成 26 年度三芳町一般会計予算について、依然として本町の財政状況は厳しい状態が続いています。

その中で、今年度予算案を作成し、議会に上程しました。予算が決定することは、町が行っていく事業を決定したことになります。予算作成の過程を経た、今年度の予算案を公開します。

一般会計の概要

町の自主財源である町税の収入は前年度比でほぼ横ばいでしたが、今後も「福祉・医療・介護」などの社会保障経費の自然増の傾向は続き、また町債の増加により今後の返済経費（公債費）の増も見込まれます。

限られた財源の中、行政サービスを低下させないために、既存事業及び新規事業等を精査し、予算を編成しました。予算総額は 149 億 7,748 万 5 千円、前年度と比較して 31.9% の増額となっています。これは町にとって重要な施策である事業が集中したことにより、多額の

財政出動を要したためです。

歳入の主なものとしては、町税が全体の 47.5% を占め、町債 25.6%、国庫支出金 8.4%、繰入金 5.4%、県支出金 4.0% があります。

歳出の主なものとしては、民生費が全体の 31.2% を占め、つづいて教育費 21.4%、総務費 12.7%、衛生費 12.3%、土木費 8.4%、公債費 8.3% となっています。

また主な事業としては、（仮称）第 3 公民館・学校給食センター整備事業、第三保育所改築事業、広域ごみ処理施設建設等事業負担金、デマンド交通運行業務、自然の森・総合スポーツ公園設置事業などを予定しています。

特別会計の概要

特別会計は、予算を使用する用途が限定されています。一般の歳入歳出予算と区別して行われている会計です。町には国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険および下水道事業の 4 つの特別会計と水道の企業会計があります。

4 つの特別会計の予算は、総額 103 億 5,918 万 3 千円となっています。